

ASEAN議員会議（AIPA）の危険薬物に関する諮問委員会 麻薬のないアセアン共同体を目指し、代替的開発する決議案 全会一致



2019年3月14日-タイ国家立法議会の代表議員は、立法議会主催により開催された第2回 ASEAN 東南アジア諸国議員会議（AIPA）の危険薬物に関する諮問委員会の会議の結果を受け、加盟国の代表団が、麻薬のないアセアン共同体となることを目的とし、代替的開発する決議案を全員で一致したことを発表しました。

タイ北部にあるチェンマイ市内のラー・マーリディアンホテルにおいてタイ国家立法議会主催により開催されたASEAN議員会議（AIPA）の第2回危険薬物に関する諮問委員会の会議（以下AIPACODD）の結果を受け、立法議会議員を代表としたチツティナン・チャヤー・スツパミット氏は、第2回AIPACODD会議に関するPR及びウェブサイト管理小委員会委員長に務めたポン・エーク・スラポン・スワンナアット（陸軍大将）同議会議員とともに、「AIPA加盟国の代表団が、プーモン前国王のご発想により、昔アヘンなどの麻薬植物生産地だった所から村人の生活改善及びその地域力強化を目的とした無農薬・有機栽培地に開発された地域を訪れ、栽培方法やEM生ゴミ発酵肥料の作り方を学んだり、野菜・果樹園や実験農場を見学したりした翌日、本会議で各国の代表団がそれぞれ国内の麻薬事情とその対策について報告した。最後に、麻薬のないアセアン共同体となるための代替的開発に関する決議案を検討の上、全会一致で採択した。それに、ベトナムが第3回AIPACODD会議開催国を務めることとした」と発表しました。また、「この結果、アセアン地域内における薬物乱用防止に取り組む重要な準備として、立法議会議員全員がこの会議を主催することに成功したといえるだろう」と述べました。

この決議案の内容として、すべてのAIPA加盟国に対しアセアン地域内における問題意識の共有し各舞台での共同宣言を重視することや各国の地域住民が望む生活向上や地域活性化への寄与を目的とするコミュニティ開発を可能にさせるため、政府を通じた支援又は推進を要求することが盛り込まれました。また、この案で、アセアン地域に影響を与える麻薬を排除する」という目標達成するため、国・地域レベルの代替的開発に関する政策及び法的枠組みの策定についてAIPA加盟国からの支援の強調に重点が置かれる。それに、この案は、加盟国及び国際機関に対し地域住民生活に影響を与える違法薬物・薬物犯罪と戦う新たな取り組みを含め、代替的開発に関する情報や手法などの交換も要求し、薬物からの離脱・解毒・リハビリを行うことや都市・維持的開発（SDGs）などの目標達成するように努力することを各国の長期戦略計画に入れ込むように促そうとしています。

参考サイト：<http://www.radioparliament.net/parliament/viewNews.php?nid=10661#.XJNY1SgzZPY>

記事/編集：ラッカナー・ティアクトーング | 衆議院事務局 | 国会ラジオ・テレビ放送局

写真：ウオラウィット・ワタナウオンサーワン | 衆議院事務局 | 国会ラジオ・テレビ放送局

翻訳：タカウィット ミンクワン | 衆議院事務局 | 外国語支援部 | 日本語通訳・翻訳担当課